

感動の場 一点の場

『造園地帯』

1938 年 小川原 脩 画



今から 100 年前シュルレアリスムはフランスで生まれました。シュルレアリスム絵画は人が夢や無意識の中に抱えている世界観を強調して表現するというものです。

日本にシュルレアリスムを展開した第一人者が福沢一郎でした。福沢の作品は今までにない表現で若い画家たちに大きな影響を与えましたが、当時の美術学校や官展のアカデミズムにシュルレアリスムは認められませんでした。シュルレアリスムの様式に傾倒していた小川原脩は反抗する意思表示として福沢を訪ねたのです。福沢は「エコール・ド・東京」の結成に参加することを勧め、発会式が済んでから入会した小川原はそこでの展覧会に出品したり、個展を開催したりするなど前衛画家のひとりとして活躍しました。

この作品は銀座ギャラリーの個展で展示されたうちの一枚です。ターコイズブルーの明るい空と広がる大地に、白く細長い建造物が描かれています。「知らない空間で自分だけの庭を造りたい」。小川原がオリジナルな絵画スタイルへの再出発としたシュルレアリスムでしたが 1937 年に日中戦争が始まり、シュルレアリスムは危険思想と疑われ自由な創作活動をするのが困難になっていきました。

文：金澤 逸子（小川原脩記念美術館 学芸スタッフ）

除虫菊の白いじゅうたん -大正～昭和期の除虫菊栽培-

ふる探訪 さと

495 回

除虫菊はキク科の多年草で、和名を「シロバナムシヨケギク」といいます。花の子房にピレトリンという天然の殺虫成分を多く含み、第二次世界大戦後に化学薬品が普及するまで、蚊取り線香やノミ取り粉といった殺虫剤の原料として盛んに栽培が行われていました。

日本では明治中期に和歌山県で栽培が始まり、その後、瀬戸内地方や北海道などに広まると、大正末期には国内生産の約 7 割を北海道が占めるようになりました。

倶知安では大正初期から栽培が行われ、その後、大正 9（1920）年に乾花の仲買や製品製造を手がける「北辰薬草株式会社」が町内に設立されたことなどもあり、倶知安周辺の羊蹄山麓地域は北海道の主産地の一つとなっています。

倶知安での作付面積のピークは昭和 10（1935）年の 465 ヘクタールで、倶知安小学校のグラウンドに換算すると約 660 個分になります。その名のとおりの鮮やかな白い花が咲く一面の除虫菊畑は、今なら格好のフォトスポットになっていたことでしょう。

その後、除虫菊の生産は、戦争による影響や化学合成の殺虫成分が登場したことで昭和 25（1950）年頃から作付けが減り、倶知安の除虫菊畑も次第に姿を消していきました。

文：紺谷 貴之（倶知安風土館 学芸補助員）



▲一面に咲く除虫菊の花（大正の終わりごろ）
※モノクロ写真を着色しています

展覧会のお知らせ

■第 1 展示室

開館 25 周年記念小川原脩展「遥かなるイマージュ」

会期：開催中～9 月 23 日（月・振休）

■第 2 展示室

小山内無石 書 個展

会期：開催中～7 月 7 日(日)

しりべしミュージアムロード共同展「紙にまつわるものがたり」

小川原脩記念美術館テーマ『画稿 紙から、はじめよう。』

小川原脩、木田金次郎、西村計雄の作品を展示します。

会期：7 月 13 日(土)～9 月 23 日（月・振休）

【ギャラリー・トーク】

日時：7 月 13 日(土) 14 時～14 時 30 分（無料）※予約不要

アート・イベントのお知らせ

■造形活動ワークショップ

むつ先生と絵あそびしよう「ぐっちゃぐっちゃ！」

日時：7 月 20 日(土)① 10 時 30 分～、② 13 時 30 分～

会場：ロビー（無料） 対象：小学生とその家族

定員：各回 6 組（1 組 3 名まで）※要予約

講師：宮崎むつさん（美術家）

予約受付：7 月 1 日(月)から電話申込開始（☎ 21 - 4141）

■ミュージアム・コンサート

しりべしミュージアムロード・コンサート 2024

「ふえふきふたりの楽譜ものがたり」

日時：7 月 27 日(土) 11 時～11 時 40 分

会場：ロビー（無料・先着 70 席）※予約不要

出演：八條美奈子さん、立花雅和さん（フルート）

倶知安風土館のお知らせ

■倶知安いきもの調査隊「引き抜け！オオハングンソウ」

日時：7 月 21 日(日) 9 時～12 時 集合：百年の森公園

定員：なし※予約不要 参加費：無料

講師：小田桐亮（風土館学芸員）、宮崎守（百年の森管理人）

■寺子屋ミュージアム「ライトトラップで夜の虫たちに会おう」

日時：7 月 21 日(日) 19 時～21 時 集合：百年の森公園

定員：20 人※要予約 参加費：250 円（保険料）

講師：小田桐亮（風土館学芸員）、岡良則さん（北海道昆虫同好会会員）

予約受付：7 月 14 日(日)までに電話申込（☎ 22 - 6631）

「夏の化石発掘体験！」

本物の化石が入っている石「ノジュール」をタガネやハンマーで

割り、化石を掘り出します。アンモナイトや二枚貝が出てくるかも！？

日時：8 月 4 日(日)① 10 時～12 時、② 13 時 30 分～15 時 30 分 集合：倶知安風土館

定員：各回 10 名※要予約 参加費：無料 講師：古野竹志さん（千歳化石会会長）

予約受付：7 月 31 日(木)までに電話申込（☎ 22 - 6631）

ミュージアム 通信

小川原脩記念美術館 ☎ 21-4141

観覧料：一般 500 円（400 円）

高校生 300 円（200 円）

小中学生 100 円（50 円）

倶知安風土館 ☎ 22-6631

観覧料：一般 200 円（100 円）

高校生以下、美術館観覧者無料

開館時間は 9 時～17 時

入館は 16 時 30 分まで

※（ ）内は 10 名以上の団体料金

7 月の休館日 毎週火曜日、展示替えのため

美術館のみ 8 日(月)～12 日(金)

13 日(土)は展覧会初日のため美術館観覧、

17 日(水)は「道みんの日」のため両館観覧無料、

25 日(木)～8 月 31 日(土)は夏休み期間のため、

美術館小中高生観覧無料

カフェとギャラリー 後編

前号の続き。4 月初めに札幌の「北都館」という、ギャラリーを併設したカフェにお邪魔してきました。

ギャラリーにもいろいろな形態があるようで、展示・販売のほか、作家さんがアトリエを併設している場合も。

以前は絵を買う予定もないのにお店に入ることが、人見知りの自分には少々敷居が高く感じていたのですが、カフェとの併設なら気兼ねせず行けそう・・・と思えたのです。

いざ入店してみれば、古式ゆかしい落ち着いた雰囲気のお茶店の壁には色とりどりのすてきな絵がずらり！

コーヒーをいただきながら、間近でじっくりと作品を鑑賞できる居心地のよい空間となっていました。

そしてカフェと絵画鑑賞の親和性が高いことを再認識。

カフェのあるギャラリー、他のお店も探してみたいと思いました。

ふくはら ひでかず
館長 福原秀和



▲今年の風土館イベント
情報はこちらから！